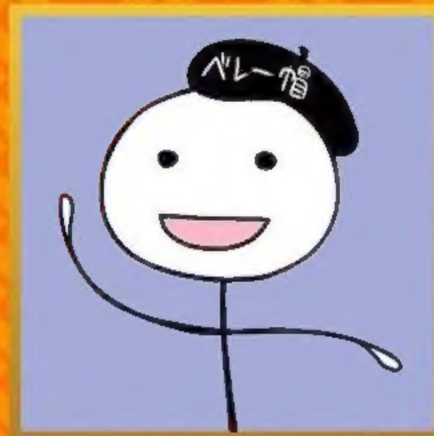
BAMBOO COMICS

3

魔剣師のハーレムライフ

魔剣による魔剣のための

【原作】伏（龍）
【漫画】小島紗
【キャラクター原案】POKImari
【構成】そよき【協力】新紀元社



漫画

小島紗

作業のお供は美味しい
コーヒーとチロルチョコです!



原作

伏（龍）

千葉県在住。最近は全く筆が
動かない怠惰で駄目な龍。
「小島先生! やっぱり3巻の
巻も最高でした!」

COVER DESIGN
YUSUKE KURACHI(Astrorb)

【原作】伏（龍）【漫画】小島紗

【キャラクター原案】POKImari

【構成】そよき【協力】新紀元社

魔剣師の魔剣による魔剣のためのハーレムライフ



CONTENTS

第11幕
救出
005

第12幕
誰が為に
033

第13幕
守り抜く力
063

第14幕
感謝と、玄人、
093

第15幕
顛落
127



特別描き下ろし
閑話
夜の特訓
149

初出:WEBコミックガンマぷらす


第11幕 救出


ジャキッ
ハア!!




パシッ


これならいけるか!?
油断するな


来るぞ

タワーファング×2
（七階層）
ランク：G

タワーフレイムファング
（七階層）
ランク：E

ザッ
ザッ
ザッ

見たことない
タイプがいるな




はあっ


ダダダ


いつも通り
落ち着いて――
システィナが
防御して
俺が遊撃を…
ジャリ
グルルルル…


行きます！


ダッ
よし 今だ！
背後に…


ザザザッ
え
ガヴヴヴ


何い!?
ヴバルルルルッ
ドザ

こっちの
作戦を読んで
仕掛けて
きやがった!
ガチッ
ガチッ

なんて力だ
このままじゃ
ご主人様から
ガチン
ガチッ
ガチッ


離れろおおおおおお!!
ガハフゥッ!!
ドッ
ズザアアアァ

大丈夫ですか！
怪我は？

助かった
ありがとう
システィナ

怪我はない

効いてるね
一気にいこう

ヨロッ…

はい




そいつは炎を吐くんだ！
ビクッ
シュオオオオオ
システィナ！
ズザザ


ジュウウウウウ
ぐあっ
ドザッ
ソウジロウ様！



待て

はっ、


システィナ
治療は後だ
先にあいつを
仕留めろ


……ソウジロウ様
すぐ戻ります


タッ
つっ…


さすが異世界
炎の息(ブレス)とか
やばすぎるだろ
ズキズキ
ズキ
ズキ


いってぇ
くそ…
お おい…大丈夫か?
よく あのタイミングで
避けられたな
ズキンッ
ズキン
!?

すぐそこに安地があるんだ

ズルル

ズルル

そこまで行けばひとまず安心だ

ズルル…




窮屈ですまない
その上 全員回復薬を
使い切ってしまった


システィナ
よかったな
逃げ遅れた人を
見つけたぞ…
も…問題ない

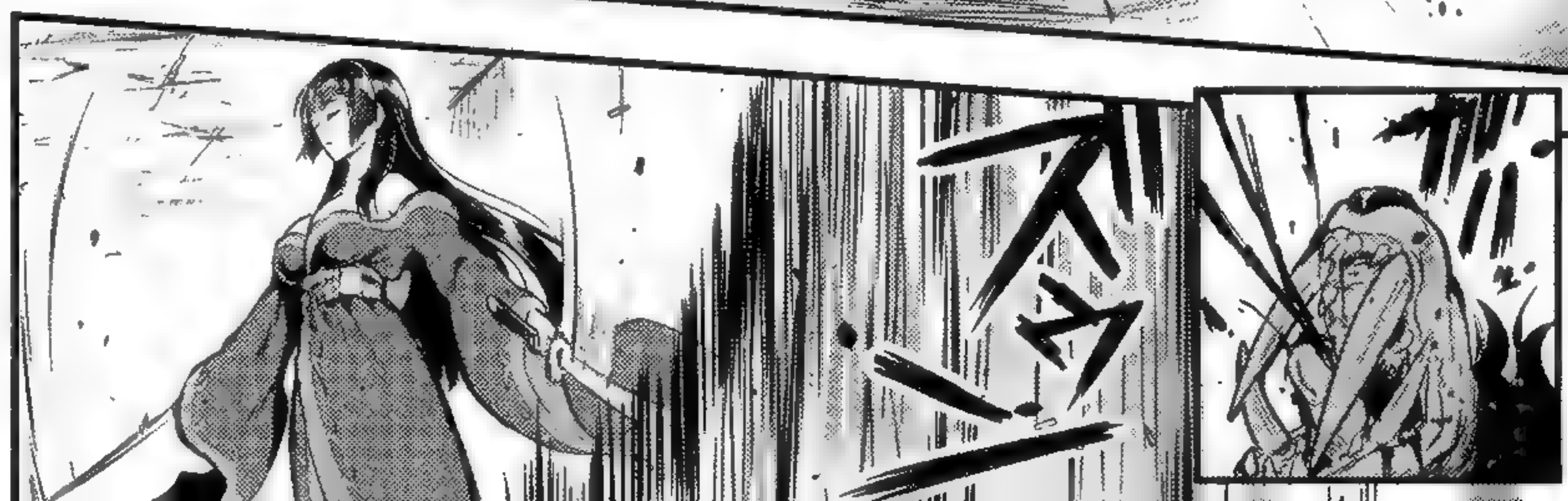

はぁ!!
ザッ

ジャキンェ
はあっ

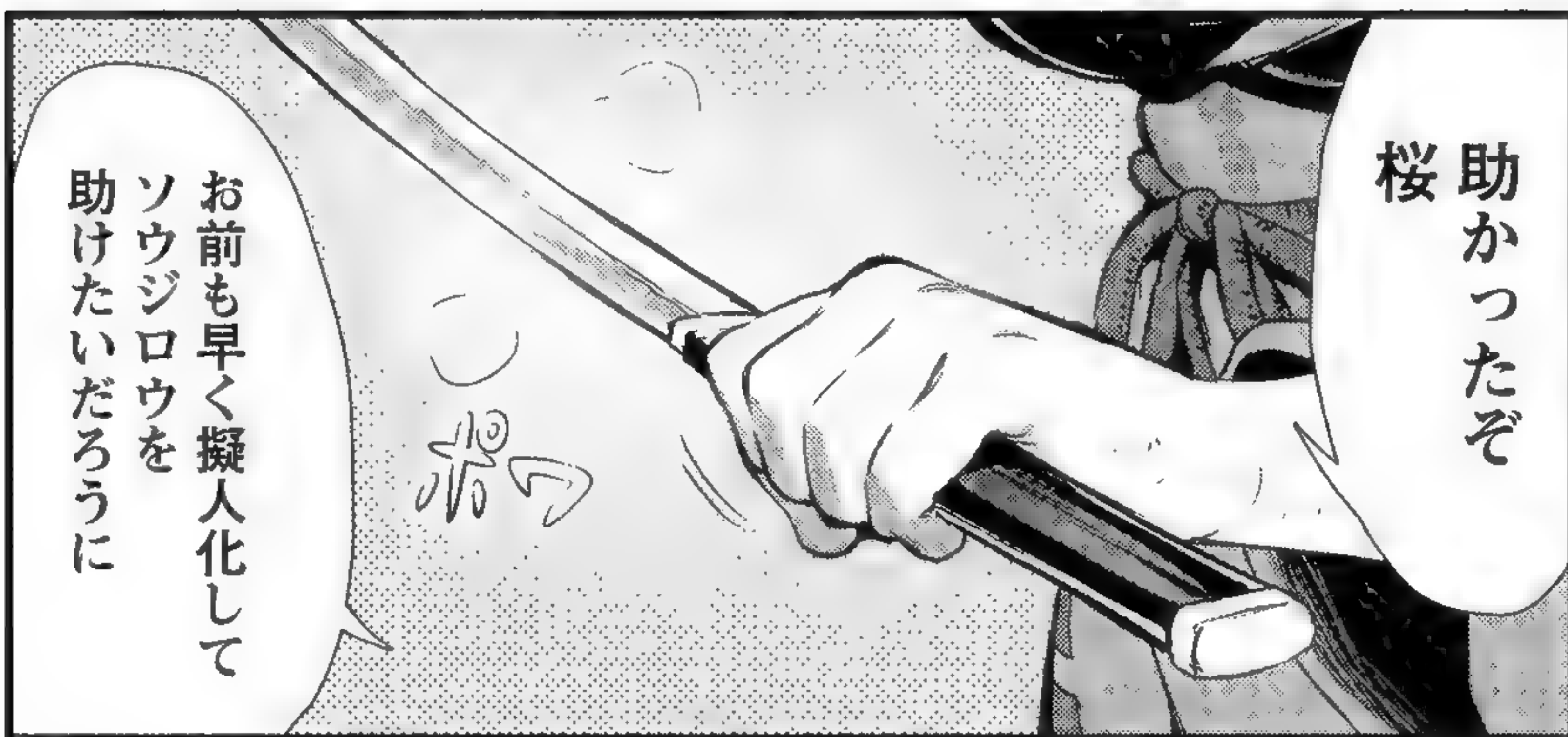



浅かったか
カランッ


ギャオアアー
蛍さんそっちに――



よし
ソウジロウのところに戻るぞ
タタッ
はい



…さま

ソウジロウ様



気がつかれましたか？

う…うん
（胸甲が邪魔だなぁ）

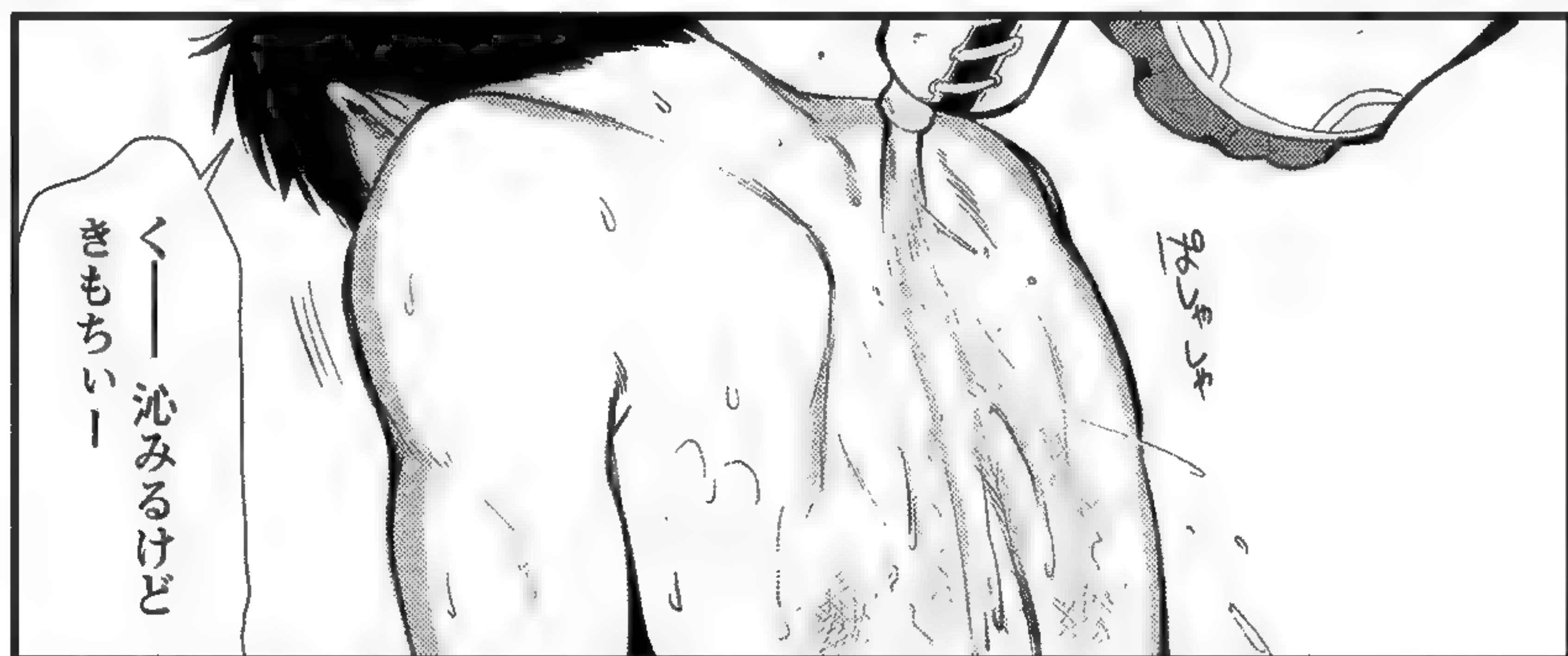

ソウジロウ様は
馬鹿です
私を庇って
こんな大ケガを…
胸甲が
硬いなあ


本来なら この傷は
侍祭である私が
負うべき傷です
それは違う


システィナが
元気だからこそ
ポン
俺は 治療して
もらえたんだ
ありがとうな


脱がします
我慢してくださいね
ばさ
──ああ


ベリ
ベリッ
…いっ！…つぅ
皮持ってかれたな


ぱしゃしゃ
くーー沁みるけどきもちぃー


…私が我儘言わなければ
システィナ

システィナのおかげで
ここにいる人たちを見つけることができたんだ




ソウジロウ


これを見てみろ
スィ…
さっきの魔物の魔石だ


火魔石のランクB!?
七階層ランクの魔物でこんな物出てきていいのか？
これは凄いね…さすがは変異種の魔石だ

変異種…!?

って——女!?

第12幕につづく


魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ


魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ

その声——
君が 俺を助けて
くれたのか？

12 誰が為に



ずい

一応 聞くけど
私が女であることを
変異種扱いしてないよな？



まあ…確かに こんなに
かわいい子が こんな場に
いるという意味では
変異種と言えるかも



冗談扱いしないでくださいよ
えっえっ
ほ 本気で言ってくれてたんだな あ…ありがとう
それより 変異種について教えてください
6才くらい以来だよ かわいいなんて言われたの…
しみじみ…
あの……
あっ ああ


フレイムファングは本来 七階層に出る魔物だが――
簡易鑑定でも出たな


けど あいつは大きさも炎のブレスも桁違いだ
そうなのか!?
だいたい どこの塔でも魔法やブレスなどの遠隔攻撃を使うのは
十階層を超えてから しかも ごく稀に というのが一般的な見解なんだ
シュオオ

そして 変異種は例外なく高品質の魔石を残す
もし倒せればひと財産になるんだが
適正階層よりも強いからな
普通は逃げるのに精一杯だ
ソウジロウ様ひとまず治療は終わりました
ありがとうシスティナ


あっちの
探索者たちの
治療を頼む 歩ける
程度にまででいい
はい


そうだ
えっと
君は――


私は
フレイだ
いつもは
四階層辺りを
探索しているんだが
今回は
護衛の依頼でな
フレイ・ハウ 業:13
年齢:19 種族:平耳族
職:獣闘剣士



名前は富士宮総司狼

礼は必ずするよ

いいですって


わっぷ
むにゅ

魔石はしまっておけ
どうやら あまり
見せびらかさんほうが
いいようだ
じろ…
ん…うん
じー…

特にあの男には注意だな

フレイ…？

……………

護衛ってこいつのだったのか――

聞こえなかったのか!!

あ…

!!

あ…っ

お前の立場を忘れたのか？

ムギュッ



ガ




ひいいい
ソウジロウ殿 その……
大丈夫ですか


キュン…
じっ…


ひとりで
ぷい
立てるよ


あんな
奴隷みたいな
雇用関係も
あるのか…
大変そう
ペコ


さて どうする
ソウジロウ


ここまでやれば
私たちの責任は
果たしたとも言えるが
う～ん…

…もう充分です
あれだけの人を
助けられたんですから

私たちも
脱出しましょう

システィナ……

…蛍さん
ここから先に
人の気配はある？

！

あるな

階層主の領域に
近いところに
2……3人か

わかった
じゃあ行こう

駄目です！
もういいんです
私が！
私が間違ってました！
私も
この世界の誰よりも
ソウジロウ様と
蛍さんが大事だと
わかったんです！
ですから――
ソウジロウ
駄目だ


――っ
退くという判断を
俺は否定しない

でも
今は駄目だ
俺がケガをした
ことへの恐怖で
その判断をするのは
きっと駄目だ



今 その想い以上に
俺たちを失う恐怖に
駆られている

そんな状態で
今 ここから
逃げるのは——

ジリ…

してはいけない
気がするんだ

だって
システィナの
本心は――
システィナ
はっ
いい加減
私たちに遠慮する
のは　もうよせ
逆の立場なら
お前も私たちのために
命を懸けることを
ためらわぬだろう？
それと
同じことさ
今回は　たまたま
お前の我儘だった
だけのことだ
ただの我儘なら
付き合わないけどね





た…助けにいってあげたいです！


手伝ってください！

よし 行こう





ぎゅ








どうやら先ほどのフレイムファングとやらが この辺りを牛耳っていたらしいな
魔物たちの気配が薄い
ザ…


これなら戦闘せずに残った探索者たちを拾えるかもしれん
ホッ


はっ
ム

まずいな

魔物の気配だ

行くぞ！

えっ

ダ




うわぁぁぁ！
くッ来るな！
来るなぁぁぁぁ！


わあああ
ち！


間に合わなかったか
まだです！
あああぁ
声が聞こえるうちは諦めません！

いた

間に合ええええ


このまま突っ込む!!
第13幕につづく




魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ

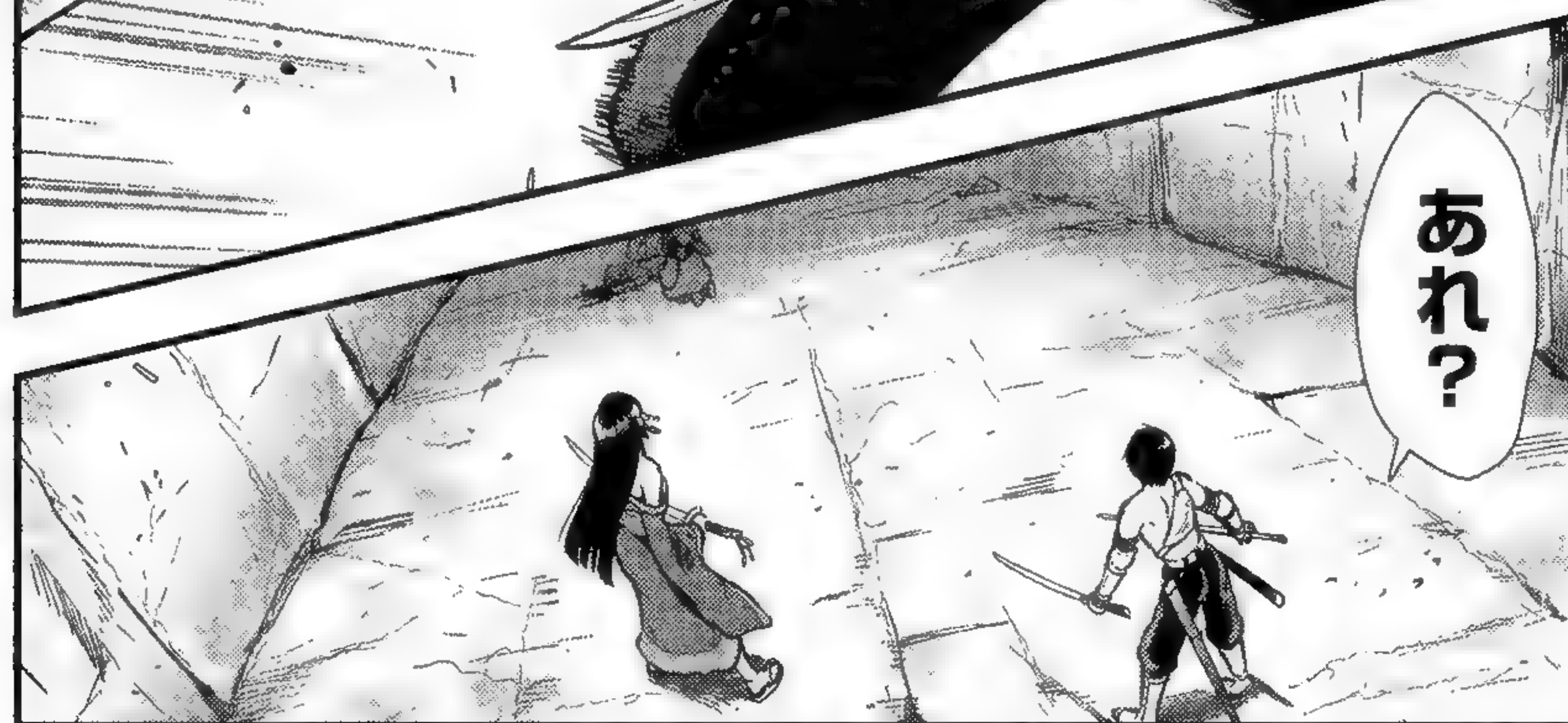

第13幕 守り抜く力


タワーハイドベアー
（十二階層）ランク：F
十二階層モンスターだ！
グァオォォォ
オォォォォ
スァ…
ザッ


避けた!?
蛍さんの一撃を!?

なら挟み撃ちだ——

ばっ





擬態だ

キョロ キョロ

左の壁に向かって
防衛姿勢！

ばばっ

ぼ 防御――

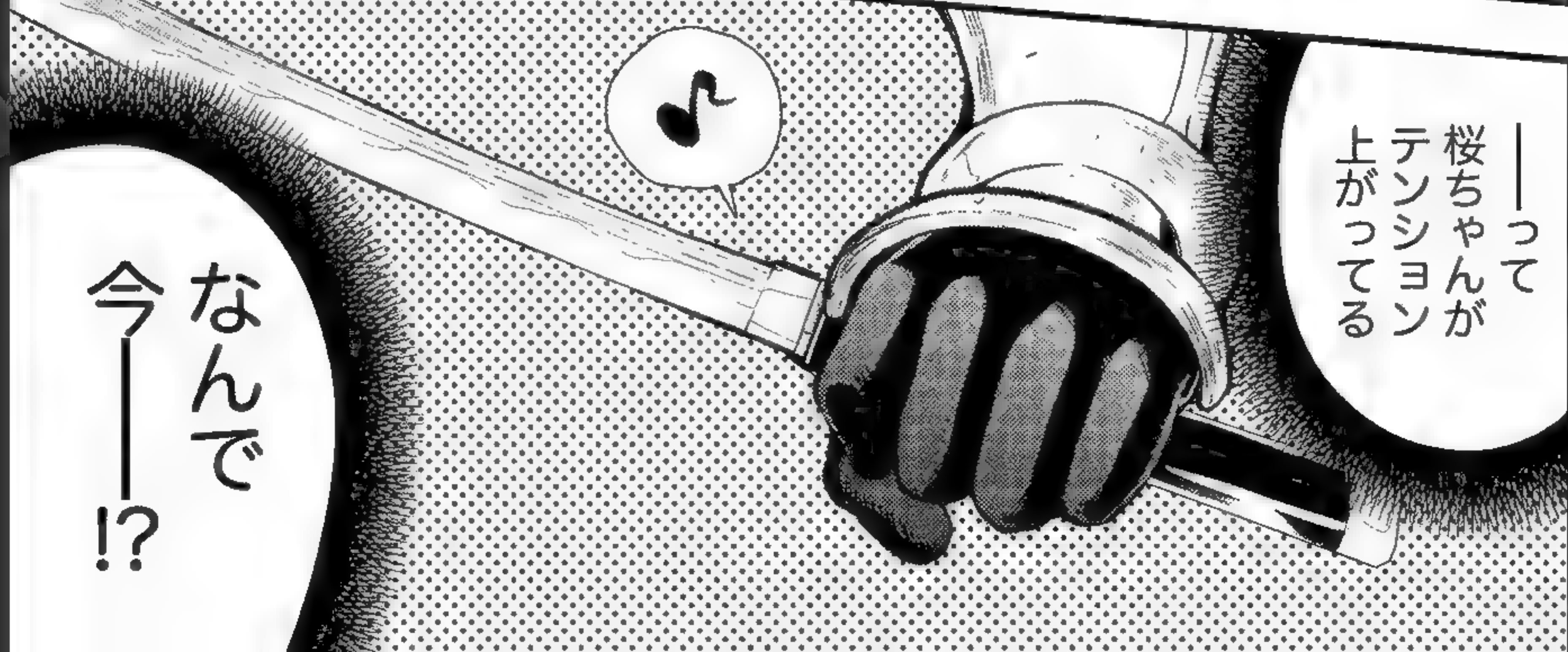

ぐお


かはっ


ずるる…
そいつは体毛を変色させる上に気配を薄くする！
シュタッ


ガガッ
ザッ

一点を集中して見るのではなく
視界全体を俯瞰で見ろ！

くそっ ハイドベアー(隠れるクマ)ってワケか…
忍者かってーの！

──って桜ちゃんがテンション上がってる
♪
なんで今──!?

右から来るぞ

ハッ

ぐにゃ

空間が歪んで――

トン

ばっ

パラ…

パラ…

なるほど――

ハァッ
キーン
ギーン
ガギッ





ぐにゃあ
――いた！

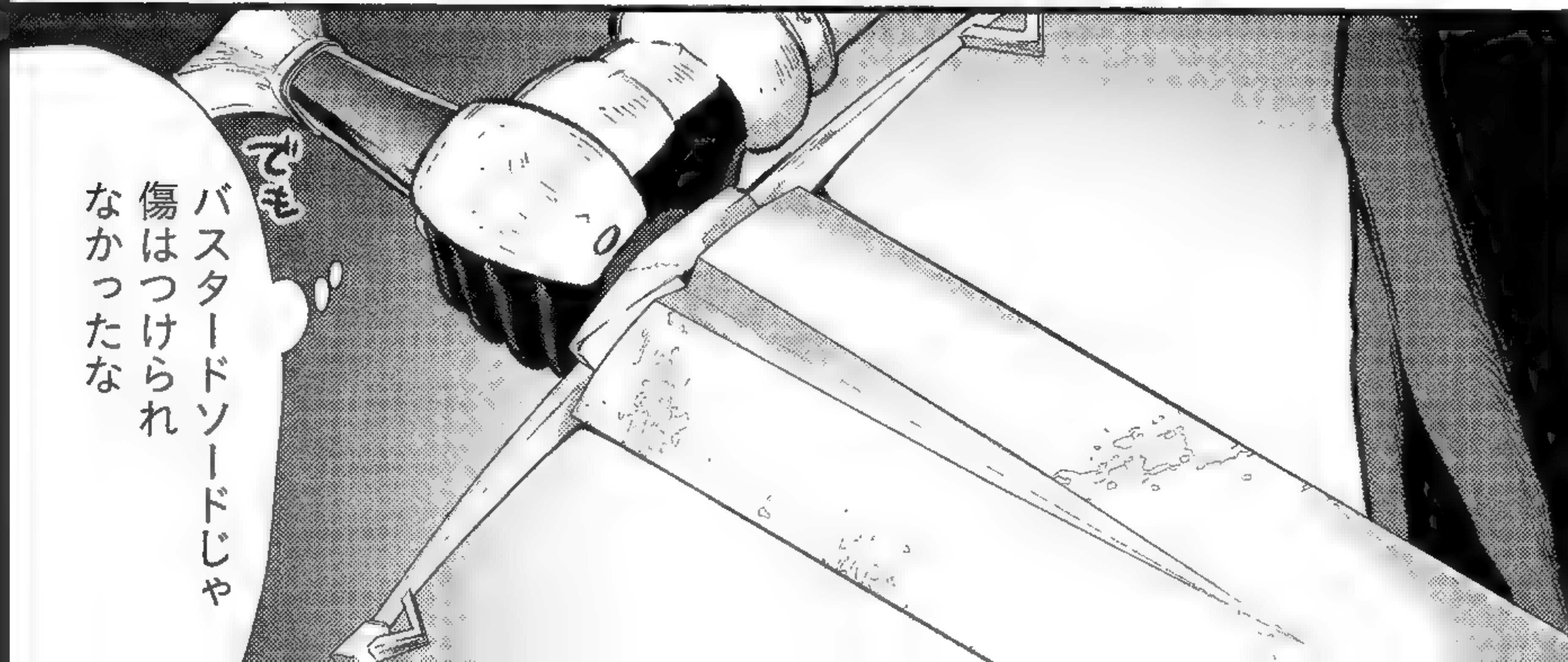

ハァァァ！

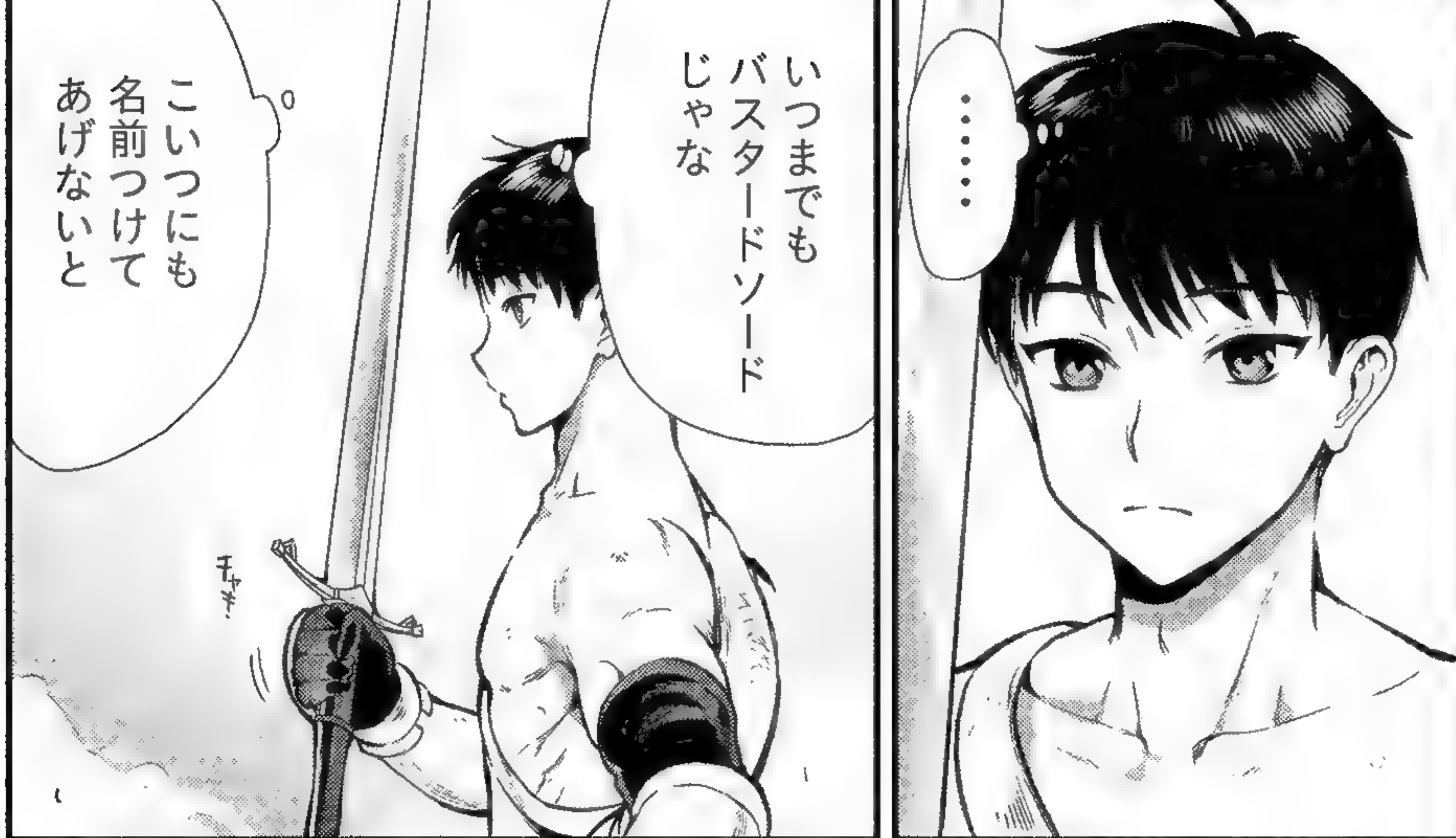

桜ちゃん
ガッ!!


ドッ
ダッ


どすーーーん!!
ゴロロッ
ドサッ


さすが蛍さん
ぜぇ ぜぇ
俺が手しか斬れなかった間に首を取ってくれた
さくらちゃんありがと


でも
バスタードソードじゃ傷はつけられなかったな



——襲われた者たちはどうなった

くる


システィナ どう？
2名の命は なんとか——

助けていただいて ありがとう ございました
私はアーリ
俺は トォルだ



アーリとトォル…
2人だけ？…か？

それが…



――っ


間に合わなかった
わけではないぞ


確かに 少し前まで
生きていたことは
間違いないが
この傷では…


バクゥが体を張って俺たちを守ってくれたから
生き延びることができたんだ
あの化け物から…


化け物…？
この階層の階層主さ——


あんなでっかい化け物
俺は知らない
見たことも
聞いたこともない


トォル
アーリ


アーリ
アーリ
お前は俺が守るっ
だから もう俺を庇うなんて
無茶はやめてくれ

お前まで失ったら
俺は…俺は…

ふん

勝手な言い草じゃのう

蛍さん…

互いを大切に思うならば守り守られどちらも平等だ

トォルとやらがアーリを守りたいのならばアーリの倍は強くなることだ


そうだな
その通りだ


ソウジロウもそう思うか
だって俺たちも――
――ん？


あれっ 俺…今口に出して――？
いいや

どうやら私の『意思疎通』と

『共感』スキルを組み合わせれば 会話のようなものが可能らしい



言葉というよりは
イメージ的な
ものだが――
やはりスジがいいな
かあっ…
これで 私と
ソウジロウで
内緒話 し放題だ



本当は 武器を持って帰ってやりたかったんだが

階層主の領域に置いてきてしまった

身に着けていたものだけだが——

そうか

では 行くか…


ヨロ…
ヨロ…


バクゥほどの
戦士が 魔物か
塔に喰われちまう
なんて…
ぐし
ぐしっ


塔に――
なんだって？
ヨロ…


遺体などは
半日もすれば塔に吸収
されてしまうのです


ゴク


ぎゅ…


そう…
なのか
ざわ
ざわ
──まるで俺たちは
塔の腹の中を
歩き回っている
微生物のようだな


ソウジロウ
はっ
蛍さん…っ



どうしたの？
うむ お前が対応したほうがいいと思ってな
ととっ
人が近づいてくる
しかも1人で
その角の奥に——

フジノミヤ殿！

ばっ

え？フレイ

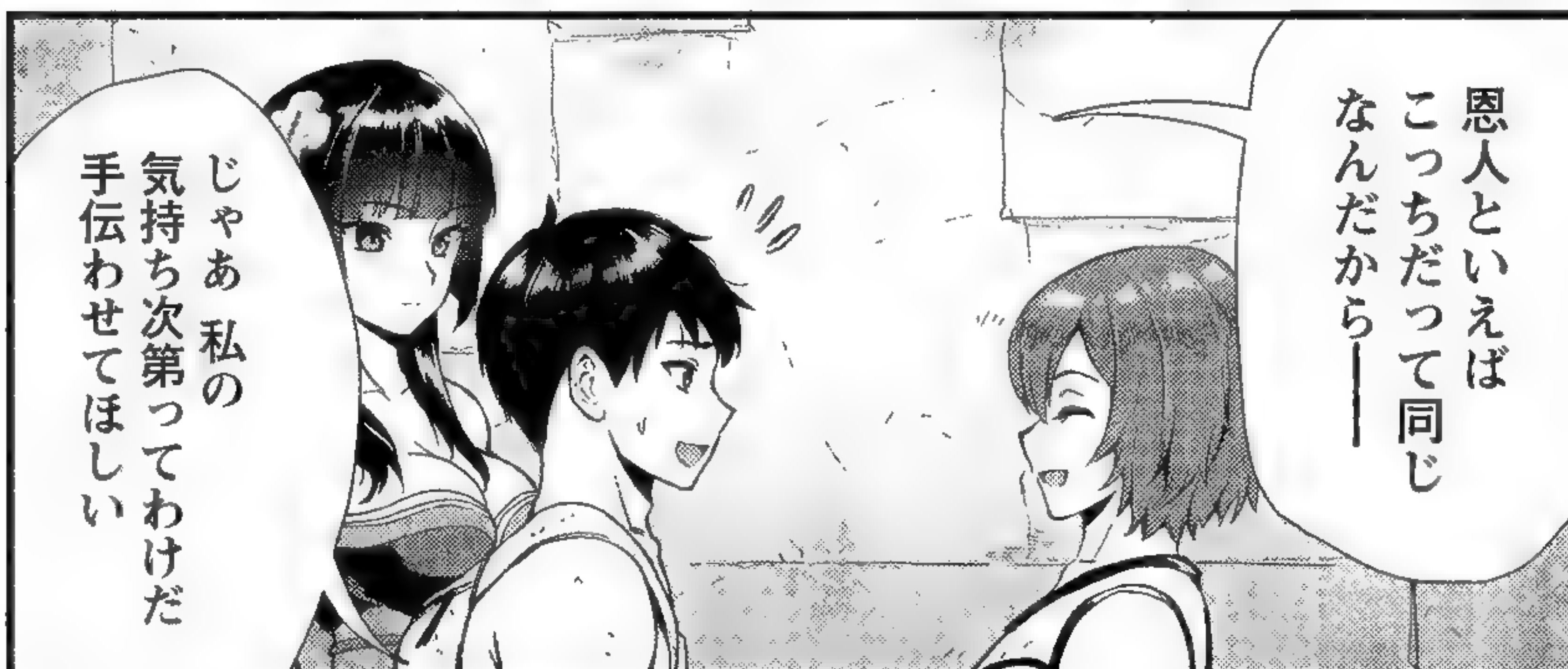
…さん？

第14幕につづく

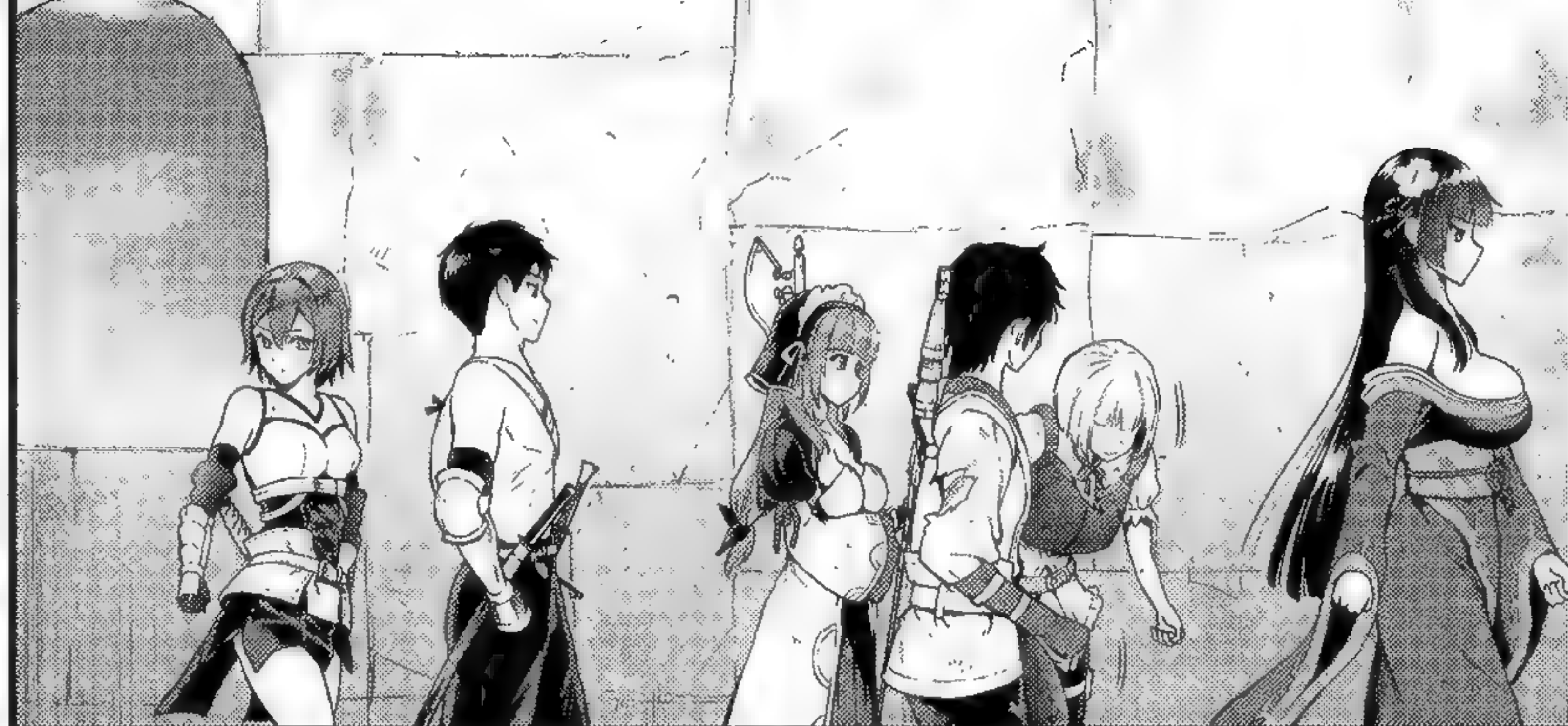
第14幕 感謝と、玄人、




どうして戻って来たんですか
恩人を手伝いに来た
他の者たちは全員無事に脱出させることができた
どん


恩人といえばこっちだって同じなんだから——
じゃあ 私の気持ち次第ってわけだ手伝わせてほしい


……わかったよろしくお願いします
どっちにしろここまで来た以上
一緒に脱出するしかないか




蛍さん 脱出までに戦闘はありそう？
――ああ


この分だと最低一度は戦うな
そうか仕方ない


共闘するならお互いの戦い方は知っておいたほうがいいな
そうだね

うちは システィナが
防御関係の技能を
持っているから

正面で壁役を
務めてくれる

戦闘能力が一番高い
蛍さんが攻撃を――

俺は遊撃かな
戦闘系の技能が
ないから 攻撃力は
高くないので――

ちょっと
待ってくれ

そんなわけ
ないだろう
あれだけの
動きが
できて
バスタード
ソードを片手で
振り回せて
戦闘技能が
ないなんてこと
あるわけが――
あー
なるほど
情報公開しすぎたな
失敗した
蛍さんに
鍛えてもらって
いるからね
ふ～む……
戦闘系の技能を
覚えた時が
凄そうだ
チラ
………





そういえば俺は二刀流でこう 振り回して戦うから

ぶん

ぶん

ぶん

位置取りには気をつけてください

わ わかった

ごまかせたかなー
じっ……




知ってるよ 桜ちゃんを見てるんだろ
あー この武器って そんなに珍しいですかね？
なんとかごまかすか


見たこともない武器だからね
ハハ わかってたけど 俺の実家って相当イナカだなぁ
これは「刀」という武器でして 実家に代々継がれてたんです

その実家も賊に襲われて両親は他界…

殺したの俺だけど

ウソはついてない

ですから この刀がどういったものか今となっては 聞くことができません

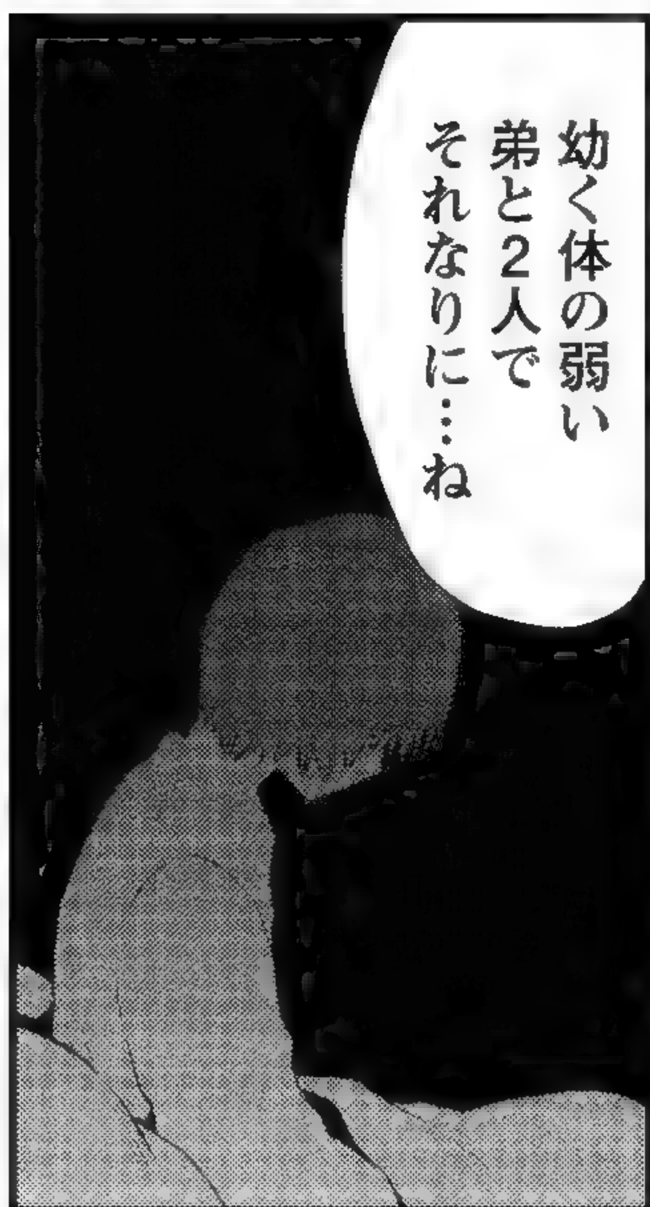
そ…そうだったのか





ん？
まぁな
不幸自慢をする気はないから詳しくはアレだが






まぁ 私程度の苦労
よくある話の
ひとつだよ――


暴行する
雇い主も
よくある話
なのか…？
!


……
そうだ


さっきは
庇ってくれて
ありがとう
雇い主の手前
礼が遅くなって
すまない





私たちも 手を分けるしかない——

わかった

スラァ……

シャキン

いきなりどうしたのだフジノミヤ殿





終わり次第
すぐ行きます
お気を
つけて
トォルさんたちは
動かないで
ください
へ？
あの一言で
一体何を…？
行きますよ
フレイさん
後ろから魔物が
来るようです
わ
わかった
ダダダダッ
ギチギチギチギチ
来るぞ！

タワーアント
（四階層）
ランク：G×3

蟻人（四階層）
ランク：F


まずいな
蟻人か…！


気をつけて 蟻人は
タワーアントを
統率する力がある


そりゃ厄介
将からつぶすか
兵からつぶすか

フレイさん
タワーアント
3匹を引きつけて
ください

――何っ

ジャキッ

その間に
俺が蟻人を
殺ります

わ…わかった

ここは
大将から潰す
べきだ――

あいつらは
ここを抜ければ
トォルとアーリを
殺す

蛍さんと
システィナの
背後を襲う

桜ちゃんなら
甲殻の隙間を
斬れる――

くるん くるん

それは


チャキン…
悪…だ
フ…フジノミヤ殿？
どくっ


ギチ
ギチ
ギチ
ギチ
ギチ


ザザ
ザザ


ダ
俺は左から行きます
先に正面に当たってください
ダ


ダッ
ダダ
わ わかった

ハア！
ザザザザ


ギュッ
ハアッ!!

ふう

なるほど
「獣闘剣士」
――ね

ギギ
ギィ!!
ダダダダッ

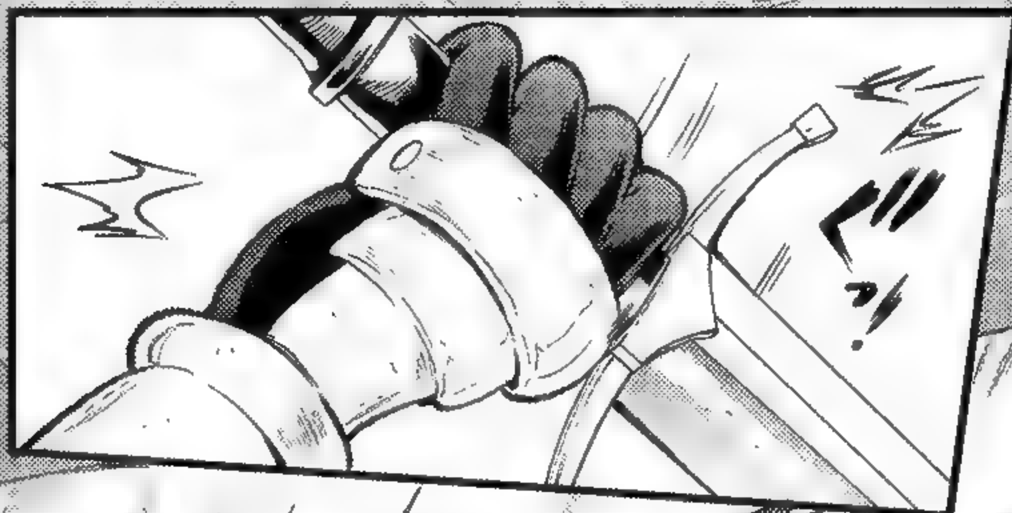
ギギィ



害虫ごときと遊んでる暇は
ないんだよ！

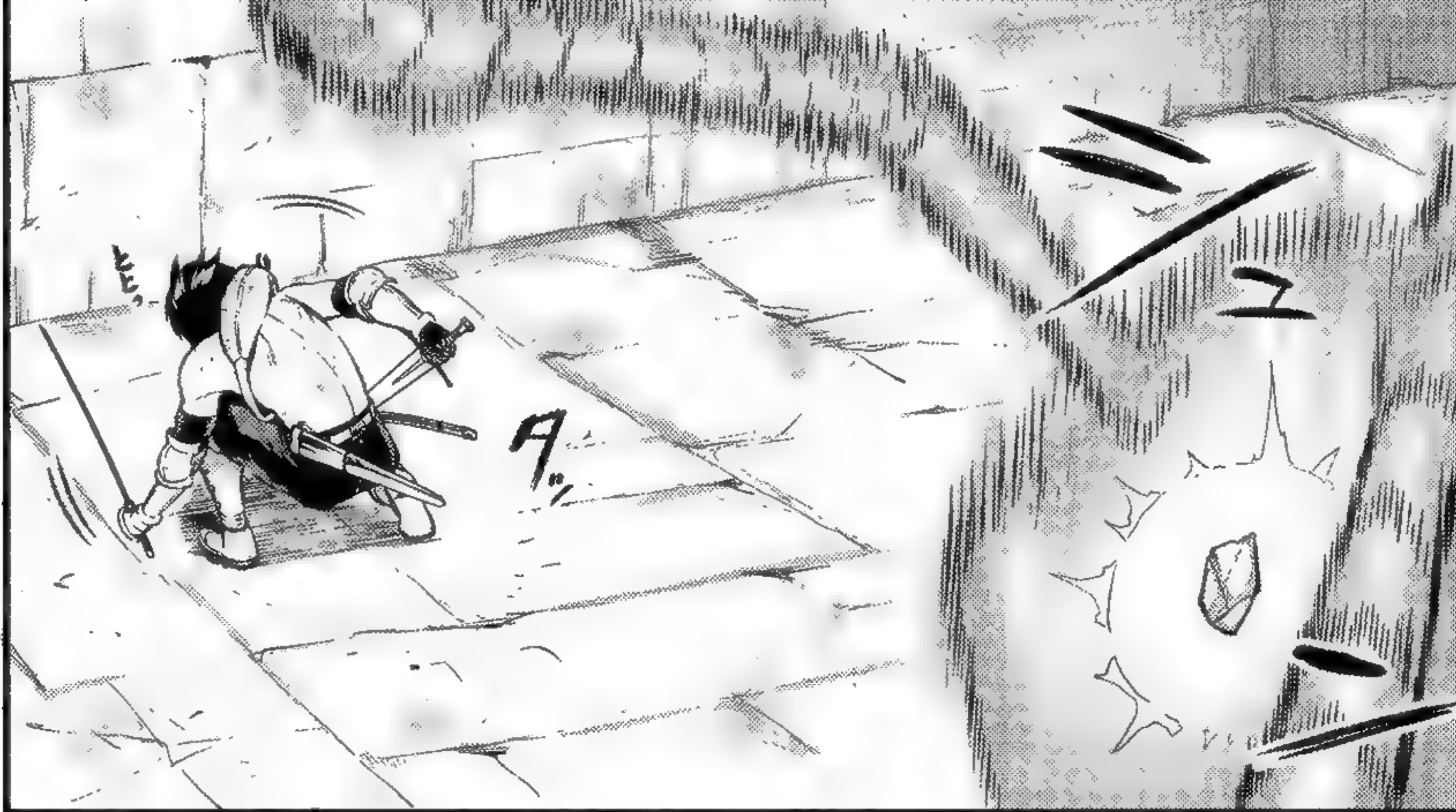


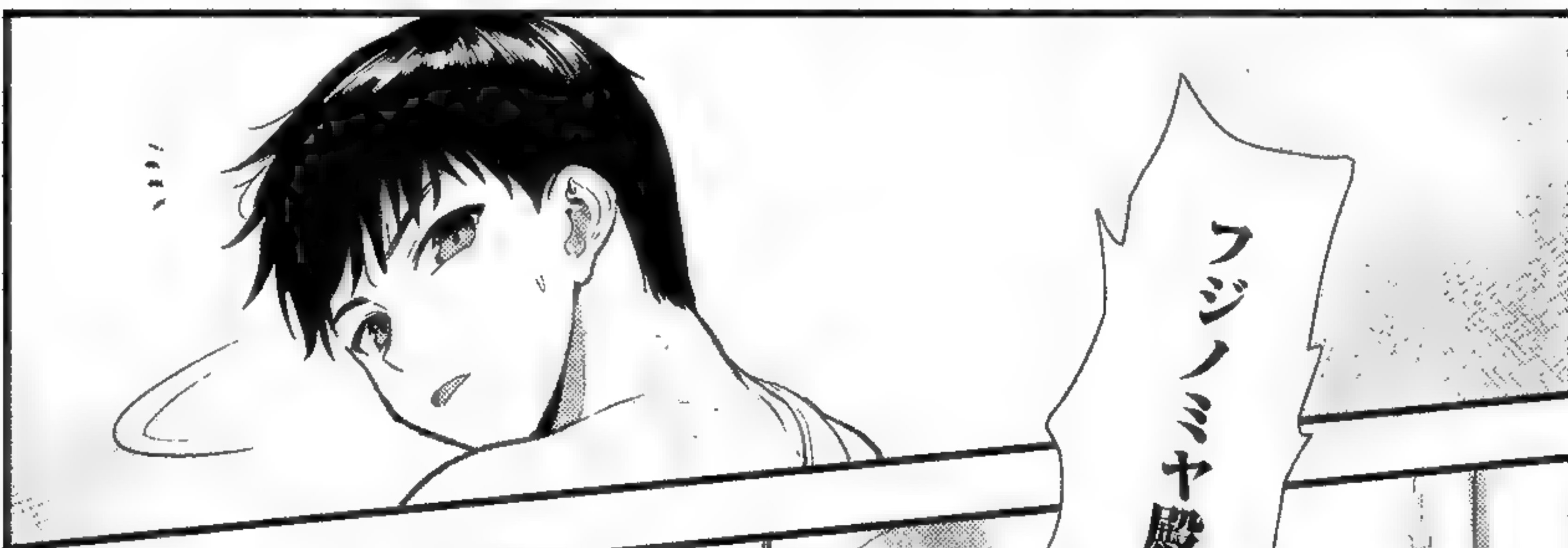




フェイント成功!!

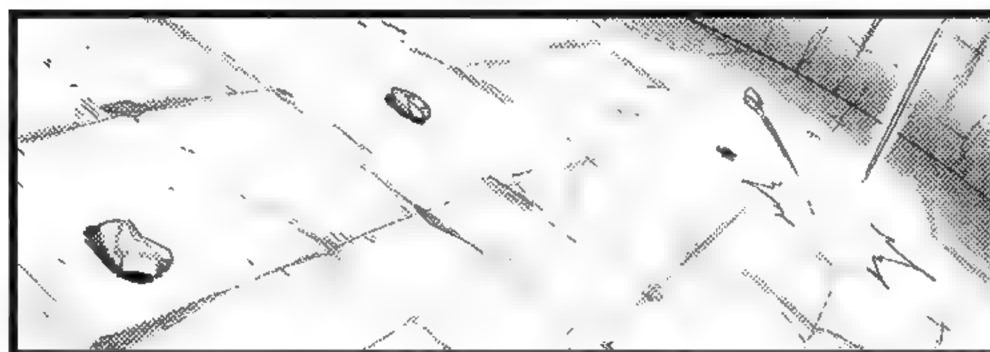

ギッ
チャキッ


シュ
タッ




フジノミヤ殿!!
ひぃ～
ギギ…
今行く!
ゲシッ


これでラストッ




一瞬助けに来たことを後悔したぞ


はい
この3つはフレイさんの


そっ
そんな
わけには

倒したのだって
ほとんど
フジノミヤ殿
で――

足止めして
くださったじゃ
ないですか

では その

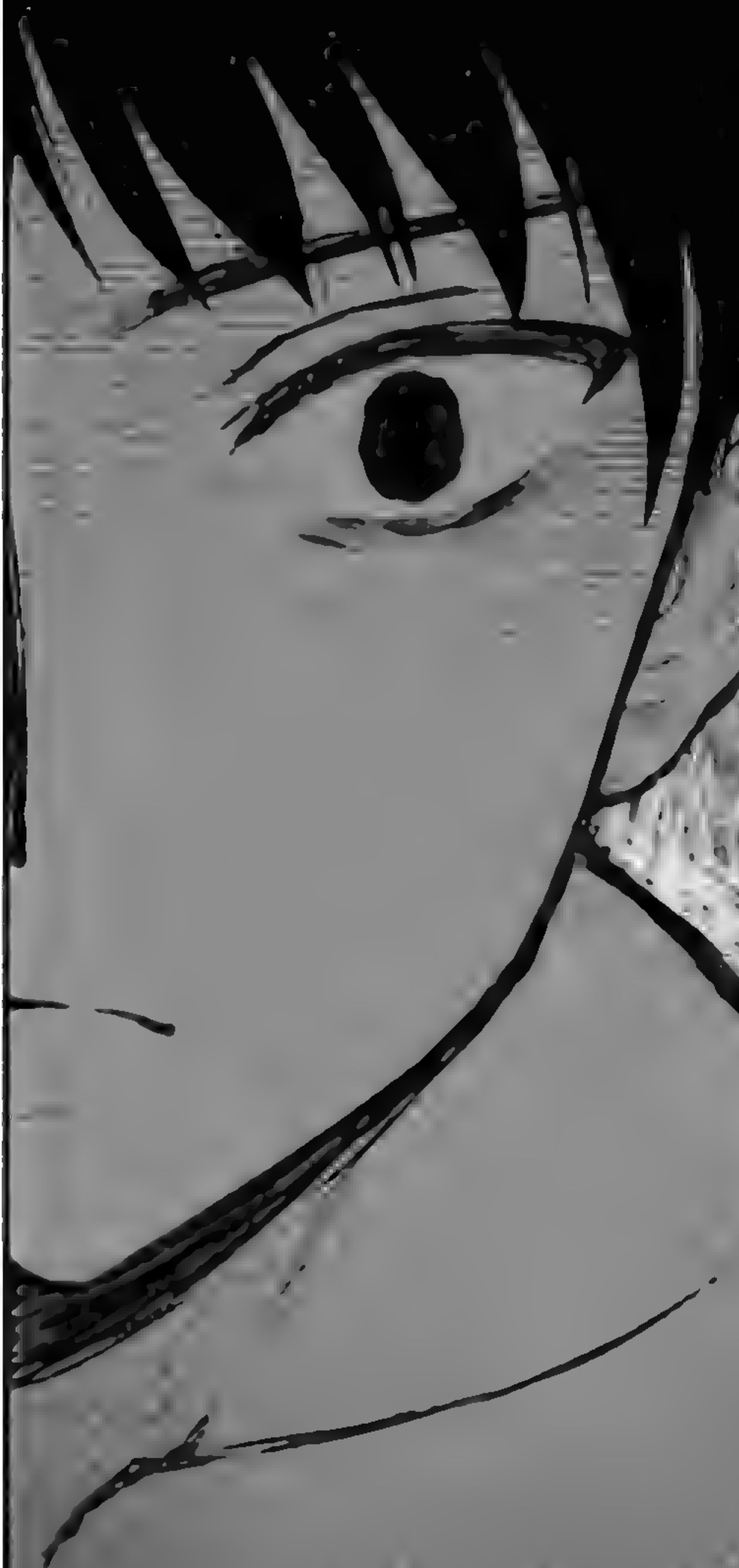
ありがたく

蟻人のは
いただきますね——




桜ちゃんの
感情？
――ない


ああ――あの時……
ガッ


・・アレが桜を盗んだのか――


桜ちゃん……
俺の家族の一員……
奪った…

角を曲がったところか
それは──

悪
追いつける……



ソウ様――

ドクン…

ドクン…

助けて――

ドクン…

第15幕につづく




魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ

俺の桜を誘拐したことだけは断固として許すわ
い。どこに逃げてどこに隠れようと、
の世に生まれたこと
後悔させて

第15話 頽落


ひっ
ひっ
ダッダッダッ


仕方ない
仕方ない
仕方ないんだ
ゼェ
ゼェ
ハァ
ハァ


弟のため
おねえちゃん
いつもごめんね
ケホ
ケホ


さあ股を開け
地獄のような日々を終わらせるため
弟がどうなってもいいのか

大丈夫ですか？

手を差し伸べてくれた人を裏切ってでも




ゾゾゾッ


ダダダダッ


ゾゾゾゾ


ブーブッ
ブーブー

ダダッ
ひいいいいい
タタタタ
殺されるっっっ





隙だらけだったのに……

蟻人のは
いただきますね





いひぃ!
ゼェ ゼェ ゼェ
いやっ!
くっ来るな!!
ドクン ドクン ドクン
なんで私の人生はこんなことばかり!!


幼い頃に
両親を亡くした
私と弟のアルは
細々と小さな
クエストをこなし
なんとか
食いつないできた


お得意様の
バルト様は
気前がよく
弟を特に
かわいがってくださり
食事も何度も
ごちそうになった


その弟が
病気になり――
私の人生も
バルト様も
変わってしまった

アル君に
いい医者をつけて
やりたいだろ

それなら今夜
私の部屋においで

専属護衛という
名の下に――

言われるがまま

されるがまま

はずかしめられ
痛めつけられ

奪われ
奪われ
奪われ


みじめで
人権なんてなくて
吐き気がするほどの相手に…
つらくて…
はずかしくて…
ただ　ひたすら弟(アル)のためにと――


ダ
ダ
ダ
ボロ
ゼェ
ゼェ
ダ
ボロ
それなのに 私が
ちょっと盗んだら
殺されるの!?
ボロ
ダ
ダ
おい待て
そっちは


はー
はー
ザッ
ザッ…
し～～ん…
追ってくる足音が止まった


…仕方ないんだ
……これを届ければ
アルにもっといい治療が――


!!





ひぃいいいい
ただの悪と
思ったんだが…
・・・・ワケありって
ヤツか
治療費ね……




言い訳くらいは
後で聞いてやるから
桜ちゃんと魔石を
置いていけっっ!!!
ザッ!!
ザザッ!!



ゔあっ
ゔあああ
ダダダダ




おかえり 桜

ドラゴマンティス
(??階層)ランク：階層主

階層主か　やっぱり

蛍さんや
システィナが
来てくれる前に

このフロアから
脱出しないとっ

ビリ

ビリ

ビリ

●第④巻につづく




魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ

特別描き下ろし 閑話

夜の特訓

あの……ソウジロウ様

「おしりペンペン」とはどういう罰なのでしょう

もうちょっと腰上げて

そう

ぴらっ…

こう…ですか?



えい
!!
ぺしっ
つん――ふぅ
びく
びくっ

えいっ
てしっ
あっ
ぺし
ぺしっ
えいっ
あん
ソウジロウのヤツ
手心加えまくり
ではないか…
えい
えい
あ
ぺし
ぺし
ああ
根が優しい故
強くはたたけぬか
――でも
ああ…
高貴な侍祭(システィナ)
には効果アリ
みたいだな
こんな辱め
初めてです
はぁっ…
はぁ…


蛍さんも…一緒に
おしおき…しよ…
はぁ
はぁ
ん　私か…？


…そうだな


システィナ
力を抜け
あひがとう
ございまふ…
体勢は
このまま
手で開け
はっ…
えっ


あ　あの



す……っ
ぬちィィ……
つふっあああああっ
びくびくっ

やはり素質アリだな

な…そんなとこ…
あ…あつい…

イキナリ指2本
入るとはな ふふっ
もう一回挿れるぞ

ソウジロウも
挿れてみよ

あっああ…

あっあっ…ずるいで…あぁ

私も…
私もぉ…

それでは
仕置きに
ならんだろう



くいっ♥

私にお願いします

ここにおしおき
してください

ぴく
ぴく




いいよね
蛍さん…
ああ


ドキ
ドキ
ドキ
ふんっ
くにっ


いくよ
システィナ
はい♡
ムニ…♥


くわん
くわん
あひ
ぐぐ
ん
ぐっ


あ
あお
おおっ
チカ
チカ
あ
あ
あ
ギミ
ギッ
ギッ


どれ 私も まぜろ
ちろ
ちろ
あっ ひあっ
すご… あつい…
ぽ
ギッ
ギッ
ギシ
ギシ
くに
くに
くに
くに
前も 後ろも…っ
ズッ
ズッ
ズッ
ぽ
ぽ
ギッ
ちろ
ああだめぇ ごめんなさい ごめんなさぁい
ギッ
ギシッ

おかしくなっちゃいます〜〜〜っっっ



閑話●END


魔剣師の
魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ

はじめまして、こんにちは
作画担当の小島紗です。
「魔剣師の魔剣による
魔剣のためのハーレムライフ」3巻を
お買い上げ頂き、ありがとうございます!

今回は塔の中でのシーンがメインなので
緊張感が出るようにキャラの表情など
特に気をつけて描かせて頂きました。
描き下ろしマンガも見どころですよ!
ではではまた〜

小島紗
こじまさや

原作：伏(龍)先生、
ネーム：とよき先生
カラーの着彩：新城みさかさん

今回も
大変お世話に
なりました!!

【原作】伏(龍)

祝3巻発売!

『魔剣師の魔剣による魔剣のためのハーレムライフ』
原作者の伏(龍)です。

とうとう3巻発売です!
1巻、2巻もお陰様で好評とのことで本当に嬉しい限りです。
小島先生やそよき先生には足を向けて寝られませんね。
ありがたや〜ありがたや(−人−)
さて、お待ちかねの3巻ではバトルが多めで、新キャラのフレイさんの登場を始め、
ガンマぷらすさんなどの表紙に出ている第三のヒロイン桜ちゃんも……
という感じで盛り上がっていきます。

そんな魔剣ハーレムを私も読者の皆さんと一緒に楽しみにしたいと思います。
今後も『魔剣ハーレム』の応援をよろしくお願いします。

伏(龍)

【構成】そよき

魔剣師の魔剣による
魔剣のためのハーレムライフ
3巻発行おめでとうございます!!

キャラクターが増えて物語も進んで来ましたね!
それぞれのキャラクターが生き生き活躍出来る
ように頑張って構成していきたいと思います!

絵を描いてると小島先生の
作画の神さがわかりますね。
これからも頑張ります

今回はフレイさん描きました。
頑張れフレイさん負けるなフレイさん



魔剣師の魔剣による魔剣のための
ハーレムライフ (3)

著　者：伏(龍)、小島紗
発行所：竹書房
発行日：2021年8月1日


伏(龍)
小島紗
書房

BAMBOO COMICS

3

魔剣師のハーレムライフ

魔剣による魔剣のための

【原作】伏(龍)
【漫画】小島紗
【キャラクター原案】POKImari
【構成】そよき
【協力】新紀元社

魔剣師の
魔剣のための
キャラクター原案：POKImari　構成：そよき
協力：新紀元社

竹書



ISBN978-4-8019-7420-3

身に着けた力を発揮するとき！塔に取り残された冒険者を、救え!!

蛍丸に導かれ、**システィナ**とともに
塔の中で特訓がてら魔物の乱獲をする**総司狼**。
だが、その結果、塔に異変を誘発させてしまう。
中に取り残された人間を助けるため
厳しくなった塔に挑む一行。
さらなるトラブルが発生、**愛刀・桜が奪われて**しまう。
そこに変異した階層主が現れて——!?